



碧南ロータリークラブ週報

第3107回例会 令和6年10月2日(水)

- 会長 鈴木 泰博
- 幹事 大竹 密貴
- 会場監督(SAA) 長田 康弘

2024-2025 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp



- 会報委員 牧野勝俊・杉浦邦彦・岡本耕也

● 斉 唱

国歌「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」

● 四つのテスト唱和

● 本日のお弁当

大正館

● 本日のお客様

地区米山記念奨学委員会 委員 手島嘉宏様 (半田南RC)

米山学友 国際安全規格認証士 王克光様

会 長 挨拶

失礼致します。本日も例会にご出席いただき、ありがとうございます。

9月の終わりには少し涼しくなりましたが、昨日からまた暑くなってきました。温度差で私は喉の痛みが1週間ほど続いています。熱はないのでそのまま出席させていただきます

が、体調的には苦しい状況です。皆さんも体調には十分に気を付けていただきたいと思います。

先週の9月24日に吉川ガバナー公式訪問が開催されました。順番で高浜RCさんの主催で行われました。公式訪問が会員の皆様のご協力が無事終わることができ、安堵しております。

10月最初の例会ということもあり、10月について少しお話しさせていただきます。皆様もご存知のことだと思いますが、10月(神無月)は神々が縁結び会議(神議り)で出雲に出掛け留守になってしまうため、神なき月が転訛して「神無月」と呼ばれています。神議りは人々



鈴木泰博会長

の幸福や繁栄などの縁を結ぶ会議ということだそうです。

10月1日から衣替えが一般的にはスタートします。衣替えは平安時代に中国から伝わりまして、宮中行事として年に2回衣を替えるということになったのが始まりで、江戸時代にはいろいろな着物ができて年4回行い、明治時代には洋服が取り入れられ、歴も新歴に変わったため2回に戻ったというようなことだそうです。

あと10月はスポーツの日とかハロウィンなどがありますが、**「十三夜」**について少しお話しさせていただきます。前に十五夜の話をしていただきましたが、十三夜は旧暦の9月13日のお月見のことです。旧暦8月15日の十五夜の後に巡ってくる十三夜を指しています。2024年は10月15日の火曜日が十三夜だそうです。

十五夜のお月見が中国伝来に対し、十三夜は日本で生まれた風習で、栗や豆の収穫を祝い「栗名月」や「豆名月」とも呼ばれております。お月見と言えば十五夜が定番とされていますが、十三夜も十五夜に続いて美しい月だと言われ、昔から大事にされています。十五夜か十三夜のどちらか一方しか月見をしないことを「片見月」や「片月見」と言い、縁起が悪いとされておりますので、9月17日に十五夜を見られた方は、10月15日も月見をしていただきたいと思っております。

今日、行事が沢山あるかと思っておりますので、話をこれぐらいにさせていただいて、クラブフォーラムでは米山記念奨学委員会委員の手島様、米山学友の王様のお話を伺いたいと思っております。本日もよろしくお願い致します。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ ロータリーレート変更のお知らせが届いております。10月は142円です。
- ・ ガバナー月信10月号掲載のお知らせが届いております。
- ・ ガバナー事務所より「直前ガバナー事務所閉鎖のお知らせ」が届いております。
- ・ 三河安城RCより「創立25周年記念誌」が届いております。
- ・ 次回10月9日（水）はインフォーマルミーティングとなります。17時半よりこちらの会場におきまして例会を行いますので、よろしくお願い致します。
- ・ 例会規定によりまして、10月31日まではクールビズを適用することになっておりますので、よろしくお願い致します。



大竹密貴幹事

委員会報告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 60 名 (内出席免除者 14 名の内出席者 10 名) 出席者 46 名	
出席対象者 46/56 名	出席率 82.14%
欠席者 14 名 (病欠者 0 名)	

<ニコボックス>

地区米山記念奨学委員会 委員 手島嘉宏様 本日は米山の卓話で学友の王克光と一緒に
世話になります。よろしく申し上げます。

鈴木 泰博君 } 9月24日のガバナー公式訪問、皆様のご協力で無事に終わることができ
杉浦 秀延君 } ました。どうもありがとうございました。

大竹 密貴君 }

鈴木 泰博君 皆様のご協力で3カ月終わることができました。10月もよろしくお願
いします。

長田 和徳君 9月は公務の関係で、欠席ばかりですいませんでした。

杉浦 保子君 ロータリーの友10月号俳壇に、末席ながら掲載していただきました。初
めて夏井いつき先生に選んでいただき、うれしいです!!

石川 鋼逸君 情報解禁できましたので、ご報告させていただきます。弊社の取組みをテレビ
東京系列カンブリア宮殿にて放映して頂けることとなりました。放映日は
来週木曜日10月10日 23:06~23:55 です。お時間あられましたら、ごら
ん下さい。撮影にご協力頂きました新美宗和様、鈴木洋様、ありがとうございました。

鈴木 洋君 先日の岡信さんのコンペで優勝しました。同伴者の倉内松雄さんの球を2
個も私が見つけたので、一日二善したことが良かったのかもしれません。
そしてその後の打ち上げでは角谷信二さん、杉浦栄次さんに大変お世話に
なりました。ありがとうございました。

<親睦活動委員会>

会員誕生日

2日 鉄村 良朗君 3日 黒田 昌司君

9日 平岩統一郎君 (喜寿)

21日 三木 信幸君 24日 岡島 晋一君

29日 杉浦 勝典君 (米寿)

奥様誕生日

3日 山中 寛紀君の奥様 恭子様 6日 杉浦 栄次君の奥様 ちづる様

12日 小林 清彦君の奥様 登美子様 18日 奥田 雪雄君の奥様 万里子様
25日 平松 則行君の奥様 啓子様 25日 石川 鋼勇君の奥様 絵梨子様

結婚記念日

1日 倉内 松雄君・敦子様 21年 6日 藤関 孝典君・千智様 40年
10日 長松 政孝君・久美子様 14年 17日 牧野 勝俊君・ひろみ様 37年
18日 鈴木きよみ君・正徳様 52年 26日 大竹 密貴君・弥生様 28年
30日 植松 敏樹君・圭子様 57年

クラブフォーラム

「米山記念奨学事業について（私の仕事について）」 地区米山記念奨学委員会 委員 手島嘉宏様（半田南RC）



手島嘉宏様

半田南 RC の手島と申します。先ほどご紹介していただいた通り、職業は弁護士をやらせていただいて、地区への出向は4年目になります。

碧南 RC さんには一昨年も来させていただきました。私は出身が半田南 RC なので、南つなかりでやらせていただいて、次は岡崎南 RC に行かせていただきますので、またよろしくをお願いします。

それでは、今日卓話をしていただく王克光さんのご紹介をさせていただきます。王克光さんは1975（昭和50）年生まれです。1999（平成11）年に来日され、2006（平成18）年に福岡大学院経済博士を卒業されました。その間に米山奨学生ということになりまして、福岡の久留米中央 RC が世話クラブになっています。2006（平成18）年4月から安城市の株式会社ニッセイに勤め始めました。2009（平成21）年に碧南市に移住して、現在は碧南市民でありますので、よろしくをお願いします。

それでは、卓話をお願い致します。

米山学友 国際安全規格認証士 王克光様

皆さん、こんにちは。

改めて、自己紹介させてください。私は王克光と申します。今、手島先生が紹介された通り、2009年に安城から碧南に引っ越して来ました。皆さんは私の顔を見たことがないと思うのですが、なぜでしょうか。それは碧南 RC で卓話をしたことが1回もないからです。本日、私は皆さんにただ卓話をするだけでなく、私の話を通じて何をお伝えしたいのか、それを楽しみに聞いてください。



王克光様

私は今月で49歳になりました。23歳で日本に来まして、25年から26年、日本に住んで

います。ですから、将来的にはおそらく碧南で骨を埋めることになると思います。子供が3人おりまして、上の子は九州の大分大学の医学部で勉強しています。真ん中の子は蒲郡の海陽学園という中高一貫校で勉強しています。高校1年生になります。下の子は小学校5年生で、鷺塚小学校に通っています。

1999年に日本に来ましたが、23歳になるまで日本に来ることを夢にも思っておりませんでした。なぜ日本に来たかという点、中国で1人の日本人の留学生と出会いました。その留学生は58歳で、中国語を一生懸命勉強していました。日本人の勤勉さを初めて知り、私も日本で勉強しようと思い、23歳で日本語も全くわからないまま、九州の福岡に来ました。そこから日本語を勉強し始めて、現在も勉強中です。よろしくお願いします。

その後、福岡大学に在学している間に修士を2年間、博士を3年間学びました。博士1年生の時に文部科学省の奨学金をいただき、1年間支給されました。その後、継続してもらいたかったのですが、残念ながら落ちてしまいました。その代わりにロータリークラブの奨学金をいただきました。奨学金をもらう条件として、毎月の例会に出席しなければならないということで、最初は皆さんと顔を合わせるのが恥ずかしかったです。もともと話すのが苦手でしたが、ロータリークラブの皆さんから「何でもいいから話してみてください。大丈夫ですよ。」と励まされました。そこから色々な場所で話すようになりました。奨学金を4年間いただき、卒業後もロータリーとの縁を切ることはありませんでした。九州の2700地区から愛知県の2760地区に学友として移籍しました。ロータリーは私にとって実家のような本当に大事な場所です。

そして、2009年の碧南に来る前に私は日本に帰化しました。先ほど鈴木会長から「これは王さんの名刺ですか？」と言われましたが、名刺の名前が「伊藤明仁」になっています。私のことを王克光と呼んでもらえるのは年に1回くらいです。去年は名古屋、その前が豊橋ということで、ロータリークラブの卓話の時しか王克光と呼ばれません。ですから、皆さんから王さんと呼ばれると凄く嬉しいです。久しぶりです。

なぜ「伊藤明仁」という名前を付けたかという点、そこには1つのストーリーがあります。私は九州の伊藤社長のもとで、魚を運ぶアルバイトをしていました。その社長はとても厳しく、日本の礼儀などを教えてくれました。伊藤社長から「将来的に日本で頑張るのであれば、もっと努力してください。」と言われ、当時は厳しいと感じましたが、今振り返ると大切な親父のような存在でした。その社長への感謝の気持ちを込めて「伊藤」と名付けました。「明仁」は当時の天皇陛下の名前から付けました。ですから、娘も「愛子」という名前を付けたので、それが楽しみと思っています。

次に仕事について簡単に説明致します。私は23号線沿いにある株式会社ニッセイという会社に勤めています。ご存知ではないかもしれませんが、ブラザー工業の子会社で小型歯車や減速機を作っている会社です。実はこの場所の1階にある自動ドアの扉の中で動いているモーターを我々の会社で作っています。その他にもセントレアや東京の羽田空港など、日本全国の様々な場所に取り付けられています。

その会社で私は国際認証という仕事をしています。国際認証はアメリカの安全認証やヨーロッパのCEマーク、中国のCCCなどの取得に関わる仕事です。海外で製品を販売するため

には、各国の安全試験を受けなければなりません。私は日本で設計部に所属して、各国の安全機関に対して製品の説明を行っています。

仕事以外ではロータリーの総会や学友の総会にも参加しています。また、先ほどお話ししたように子供が3人いますが、長男が高校3年生の時には安城学園のPTAの会長をやりました。その際、安城学園だけでなく、愛知県私立高校協会の副会長もやりました。保護者の代表として、県や国に陳情に行く役割も担いました。さらに愛知県の私立高校保護者連合会の副会長として活動し、大村知事ともお話しして、愛知県の教育にも深い関心を持っていると感じました。表彰を受けた後には国の方にも行き、歴代の文部科学大臣ともお会いしました。高校生の教育無償化の推進など、様々な活動を行ってきました。

なぜ私がそういったことができるかという、皆さんが当時ロータリアンとして寄付してくださったお金のおかげです。もし奨学金がなければ卒業できずに中国に帰国していたかもしれません。そうすると、皆さんとお会いする機会もなかったでしょう。お金をいただいて卒業し、自分は日本でこのような活動ができています。また、海外でも同じような活動をしています。皆さんから見ると、私は中国出身の学友だと思われるかもしれませんが、私が持っているパスポートは日本のパスポートです。ですから、海外の人から見ると私は日本人です。中国で日本のことを伝え、日本人として見られています。その時、自分が日本人である自覚を強く感じます。

私は皆さんからいただいたお金を直接返すのではなく、次世代の人々に伝え、国際交流に関して自分の力を発揮したいと思っています。中国のロータリアンや学友たちともつながりがあり、台湾のロータリアンとも交流しています。台湾で仕事をする際には必ずロータリアンと連絡を取ります。先ほども言いましたが、ロータリーは私にとって実家のような存在で、どこのロータリーに行っても自分の居場所だと感じます。ですから、皆さんとは今日初めてお会いするかもしれませんが、ロータリアンを見ていると初めての場所だと思わず、ゆったりとお話しできています。これまでお世話になった九州の久留米中央 RC の恩人に毎年お正月には何か贈り物をしています。人間として恩返しをしなければならないと思っています。

重要なのは「つながり」だと考えています。皆さん、ここでいつも会っている人たちの顔は記憶していると思いますが、例えば、碧南 RC が奨学生を受け入れた時など、その方の話し方や考え方は違うかもしれませんが、受け入れてくださると思います。もし、何か困ったことがあれば、私は碧南に在住していますので、いつでも呼んでください。必ず学友としてサポートします。

今日、皆さんに自分のことをお話ししましたが、私の人生の中でロータリーの奉仕の精神は常に影響を与えています。私の頭の中にいつもあります。私の子供たちも日本語、英語、中国語を話します。3人とも違う場所で育てました。上の子は福岡で生まれ、真ん中の子は安城で生まれ、下の子は碧南市民病院で生まれました。家族はバラバラですが、子供たちは父親が米山奨学生であったことを理解しています。毎年12月に名古屋で行われるロータリーの総会に出席し、食事や皆さんに会えるのを楽しみにしているのを子供たちも知っていて、子供たちは小さい頃から国際的な視野を持ちたいと考えるようになりました。

皆さんもご存知のように世界は平和ではないですが、私たちの行動が大事だと思います。

奉仕というのはただ訴えるだけでなく、行動で実践しなければならないと考えています。過去も今も将来もそう思っています。ですから、皆さんのところで奨学生を受け入れる機会があれば、ぜひ温かくお迎えください。私の話は以上です。

ありがとうございました。

次回例会案内

令和6年10月16日（水）は定款第7条第1節（d）（1）による休会

令和6年10月23日（水）

卓話「日常誤解しやすいワインのお話と小ネタ」

Brut Nature オーナーソムリエ 米澤和也氏